

# 面圧 sprockets / ダブルピッチ sprockets

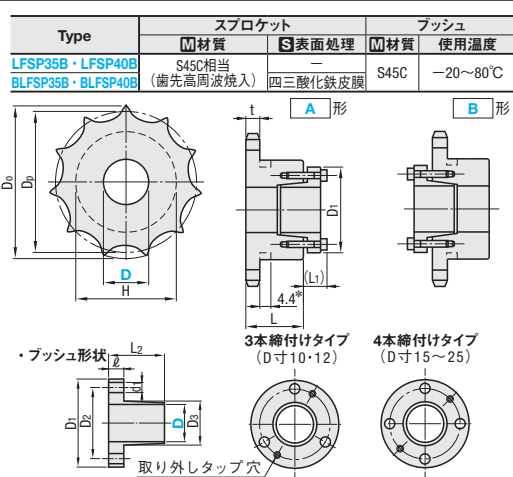
-35B・40Bシリーズ -40B・50Bシリーズ



CADデータフォルダ名: 21\_Chains\_and\_Sprockets

■特長: 軸への加工が不要なため、軸の強度低下がありません。位置合わせが容易です。

## 面圧 sprockets



■取付けの注意

- ・フッシュは軸を挿入後にボルト締めしてください。(挿入前にボルト締めすると、フッシュが変形します)
- ・ボルトの締め付けには、トルクレンチをご使用ください。
- ・締め付けボルトは、付属されている以外のボルトを使用しないでください。

■取付け

- ①軸表面のゴミをふき取り、オイルかグリースを薄く塗ってください。(モリブデン系減摩剤を含有したオイル・グリースは使用しないでください)
- ②sprocketとフッシュの接触面も同様に、きれいに拭きオイル・グリースを塗布してください。また、締め付けボルトのネジ面・座面にも塗布してください。
- ③sprocketとフッシュを仮組して軸に挿入してください。(軸を通さずにフッシュをボルト締めしないでください)
- ④位置決めが完了後、締め付けボルトをトルクレンチにより対角線の順に最初は軽く(所定の締め付けトルクの約1/4)締め付けてください。
- ⑤締め付けトルクを上げて(所定の締め付けトルクの約1/2)締め付けてください。
- ⑥所定の締め付けトルクにて締め付けを行ってください。
- ⑦最後に締め付けボルトを円周方向に順番に締め付けてください。

■取外し

- ・装置が完全に停止した状態にて作業を行ってください。
- ・締め付けボルトを円周方向に順番に緩めてください。
- ・取外し用ねじ穴にボルトを挿入し均等に緩めてください。
- ・再取付け時は、取付けの手順を繰り返してください。

適合チェーン選定方法 P.1652

型式	Type	呼び	ボスタイプ	歯数	軸穴径D (H7)	形状	Dp	Do	H	L	t	¥基準単価						
												LFSP	BLFSP					
LFSP BLFSP	35	B	A	12	10	A	36.8	41	*30.5	20	4.3	3,200	3,520					
				13	10									39.8	44	*32	3,250	3,570
				14	10									42.81	47	32	3,320	3,650
				15	10									45.81	51	35	3,360	3,690
				16	10									48.82	54	37	3,410	3,750
				17	10									51.82	57	39	3,460	3,810
				18	10									54.83	60	41	3,510	3,870
				19	10									57.83	63	43	3,560	3,930
				20	10									60.84	66	45	3,610	3,990
				21	10									63.84	69	47	3,660	4,050
LFSP BLFSP	40	B	A	12	12	A	49.07	55	*40	22	7.2	3,550	3,900					
				13	12									53.07	59	37	3,610	3,970
				14	12									57.07	63	42	3,650	4,010
				15	12									61.08	67	46	3,700	4,060
				16	12									65.1	71	50	3,750	4,110
				17	12									69.12	75	54	3,800	4,170
				18	12									73.14	80	57	3,850	4,230
				19	12									77.16	84	62	3,900	4,290
				20	12									81.18	88	67	3,950	4,350
				21	12									85.2	92	72	4,000	4,410

LFSP35B12・BLFSP35B12はA形状のみとなります。また、\*印はボス外径に溝があります。

Order 注文例: 型式 - D - 形状  
LFSP35B16 - 15 - A

Delivery 出荷日: 5 日目出荷

在庫: 3 日目出荷 800円/1本 PM 8:00迄 P.134

数量スライド価格 (1円未満切り捨て) P.133

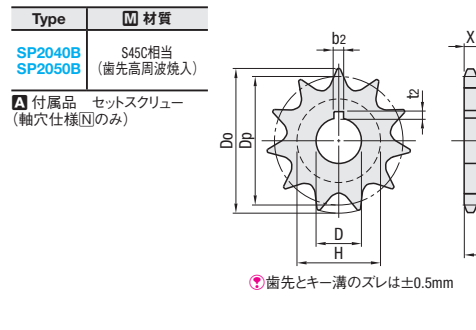
数量区分: 標準対応 小口 大口

数量: 1~10 11~20 21~

値引率: 基準単価 5% お見積り

表示数量超えはWOSにてご確認ください。

## ダブルピッチ Sタイプ専用 sprockets



型式	Type	呼び	ボスタイプ	歯数	軸穴径(D)	作用歯数	Dp	Do	H	L	X	質量 (kg)	¥基準単価					
													S仕様	N仕様				
SP 2040	B	S	A	19	14	20	25	30	35	9	1/2	78.23	84	60	0.64	840	980	1,200
				21	14	20	25	30	35	10	1/2	86.17	92	69	0.93	910	1,120	1,230
				23	14	20	25	30	35	11	1/2	94.15	100	77	0.99	970	1,170	1,270
				25	14	20	25	30	35	12	1/2	102.14	108	83	1.06	990	1,060	1,320
				19	14	20	25	30	35	9	1/2	97.78	105	77	1.1	1,010	1,160	1,420
				21	14	20	25	30	35	10	1/2	107.72	115	83	1.62	1,140	1,250	1,700
SP 2050	B	S	A	23	16	20	25	30	35	11	1/2	117.68	125	93	1.74	1,210	1,320	1,800
				25	16	20	25	30	35	12	1/2	127.67	135	101	1.87	1,250	1,360	1,900
				19	16	20	25	30	35	11	1/2	117.68	125	93	1.74	1,210	1,320	1,800

適合するチェーンはCHEW40・CHEW50となります。P.1665

Order 注文例: 型式 - D - 形状 - 軸穴径  
SP2040B21 - N - 20

Delivery 出荷日: 3 日目出荷

在庫: 3 日目出荷 P.133

数量スライド価格 (1円未満切り捨て) P.133

数量区分: 標準対応 小口 大口

数量: 1~9 10~14 15~20 21~50 51~

値引率: 基準単価 5% 7% 10% 18% お見積り

出荷日: 通常 +2日 お見積り

表示数量超えはWOSにてご確認ください。

# 規格追加 赤文字表示 IDLER SPROCKETS -SINGLE BEARING・DOUBLE BEARINGS- アイドラー sprockets

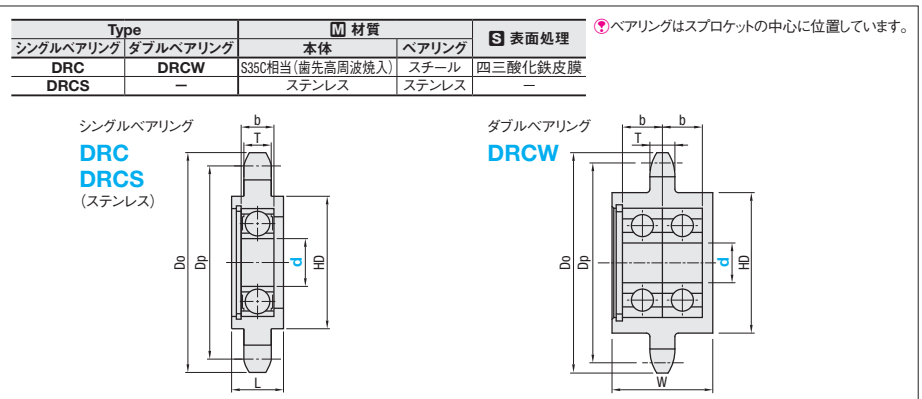
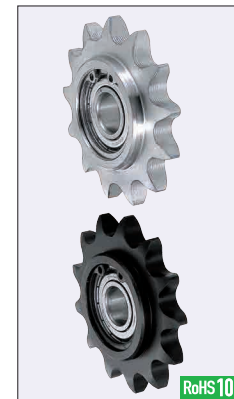
-シングルベアリング・ダブルベアリングタイプ-



価格改訂: 値下げ価格, 新価格, スライド値引率変更

CADデータフォルダ名: 21\_Chains\_and\_Sprockets

■特長: チェーンに張りを与え、チェーンの振動や騒音、sprocketの噛み合い不良を防ぎます。



適合チェーン選定方法 P.1652

型式	Type	呼び	歯数	d	Dp	Do	T	HD	L	W	ベアリング		アイドラピン適用サイズ		概略質量(kg)			¥基準単価										
											品番	b	シングルベアリング	ダブルベアリング	DRC	DRCS	DRCW	DRC	DRCS	DRCW								
シングルベアリング DRC DRCS	25	B	A	17	6	34.56	38	2.8	27	12	606ZZ	6	-	-	0.04	-	-	940	-	-								
				18	8	38.58	42	31	13	608ZZ	7	-	-	0.08	-	-	990	-	-									
				19	10	40.59	44	31	13	6900ZZ	6	-	-	0.08	-	-	1,040	-	-									
				20	12	40.59	44	33	13	6901ZZ	6	-	-	0.08	-	-	1,090	-	-									
				ダブルベアリング DRCW	35	B	A	16	10	48.82	54	4.3	38	14	6000ZZ	8	IDP6000S	-	-	0.11	0.12	668	2,170	-				
								18	15	54.85	60	44	17	6202ZZ	11	IDP6202S	-	-	0.16	0.17	718	2,570	-					
								21	17	63.91	69	53	19	6203ZZ	12	IDP6203S	-	-	0.24	0.25	838	3,020	-					
								25	20	76	81	60	21	6204ZZ	14	IDP6204S	-	-	0.33	0.34	998	4,110	-					
								シングルベアリング DRC DRCS	40	B	A	13	10	53.07	59	7.2	38	14	6000ZZ	8	IDP6000S	-	-	0.15	0.16	668	2,740	-
												15	15	61.08	67	44	17	28	6202ZZ	11	IDP6202S	IDP6001W	IDP6202W	0.14	0.15	0.19	718	2,910
ダブルベアリング DRCW	50	B	A	17	17	69.12	76	8.7	53	19	6203ZZ	12	IDP6203S	IDP6203W	IDP6203W	0.3	0.31	0.45	928	3,770	1,700							
				19	20	77.16	84	60	21	35	6204ZZ	14	IDP6204S	IDP6204W	IDP6204W	0.4	0.41	0.62	998	4,110	1,870							
				12	12	61.34	69	43	16	26	6201ZZ	10	IDP6201S	IDP6201W	IDP6201W	0.21	0.22	0.31	768	3,080	1,380							
				13	15	66.34	74	44	17	28	6202ZZ	11	IDP6202S	IDP6202W	IDP6202W	0.23	0.24	0.34	757	3,080	1,400							
				15	17	76.35	84	53	19	31	6203ZZ	12	IDP6203S	IDP6203W	IDP6203W	0.37	0.38	0.51	1,007	4,110	1,770							
				17	20	86.39	94	60	21	35	6204ZZ	14	IDP6204S	IDP6204W	IDP6204W	0.49	0.5	0.72	1,180	4,620	2,060							
シングルベアリング DRC DRCS	60	B	A	11	12	67.62	76	11.7	44	16	6201ZZ	10	IDP6201S	-	-	0.26	0.26	757	3,610	-								
				13	17	79.6	89	53	19	-	6202ZZ	11	IDP6202S	-	-	0.27	0.27	790	3,610	-								
				14	20	85.61	95	60	21	-	6204ZZ	14	IDP6204S	-	-	0.46	0.47	1,089	4,450	-								
				9	15	74.27	85	44	17	-	6202ZZ	11	IDP6202S	-	-	0.56	0.57	1,230	5,020	-								
シングルベアリング DRC DRCS	80	B	A	10	17	82.2	93	14.6	52	19	6203ZZ	12	IDP6203S	-	-	0.57	-	1,310	-	-								
				11	20	90.16	102	60	21	-	6204ZZ	14	IDP6204S	-	-	0.69	-	1,489	-	-								

適用するアイドラピンの記載がないものは片持ちピンをご利用ください。P.909~932

DRC560を規格追加いたしました。

## ダブルベアリングタイプ (DRCW) の特長

ベアリングが2つ装着してあるため、シングルタイプよりも高負荷の条件に耐えることが出来、従動側でのテンション調節に最適です。

■アイドラの使用に際して

チェーンの伸びは伝動効率を低下させ、その摩耗を早め、寿命を短くします。以下の条件の伝動装置には調節機構が必要となります。

1. 両軸中心距離が長いとき (中心距離が使用するチェーンピッチの30~50倍を超えるとき、または脈動荷重のかかる場合で20倍以上のとき)
  2. 両軸位置が垂直かこれに近いとき
  3. 両軸中心距離が短く、上側がチェーンのゆるみ側になるとき
  4. 多軸伝導でチェーン全長が長いとき
  5. その他チェーンの振動の激しいとき
- チェーンの伸びの調節装置としては、次の2種類があります。
1. アイドラ、テンショナーをつける (①両軸中心が固定のとき、②垂直伝動、または③振動を生じるとき)
  2. 両軸の内いづれ一方の軸を移動させる (通常の伝動においては最も簡単な方法と言えます。)



アイドラとしては、きわめて低速の場合には、ローまたはガイドレールなどが用いられますが、動力伝動チェーンとしては、sprocketを用いるのが通例です。アイドラはチェーンのゆるみ側のスパンにつけ、正逆転するとき、または必要あるとき以外、張り側には付けません。これは張り側に付けたらチェーン張力を増し、摩耗寿命を短くしてしまうためです。アイドラの歯数は最高回転数を越えないように留意し (小sprocketより歯数を小さくすると回転数が増加するので注意してください)、チェーンとの接触は少なくとも3歯以上かみ合うようにします。アイドラの調整方法には1.偏心軸式 2.アーム式 3.スライド式などがあります。(P.2445「チェーン伝動機構の設計」も参考にしてください。)

